



Q：風疹がはやっていよう
ですが、先天性風疹症候群と
はどのようなものでしよろ
か？

A：妊婦さんが妊娠前半期に
風疹にかかると、障害のある
子どもが生まれてくること
があるのです。これを先天性風
疹症候群といいます。その発
生頻度は感染時期によつて異
なり、妊娠1カ月以内だと約
50%、妊娠3カ月以内で約20
%と言われています。症状と
しては、白内障・先天性心疾
患・感音性難聴が3主症状と
言われています。白内障と心
疾患は妊娠3カ月以内の感染
で起こり、難聴はそれ以後の
感染でも起こりますが、妊娠

後半の罹患(りかん)では胎児
に先天異常は起こりません。
先天性心疾患としては、動
脈管開存症・心室中隔欠損症・
心房中隔欠損症・肺動脈狭窄
症などが起こります。また、そ
の他の症状として、緑内障・小
眼症・網膜症・水頭症・小頭症・
脳性まひ・精神発達遅滞など
がみられることがあります。



先天性風疹症候群それ自体
の治療法はありません。予防
で重要なことは、十分な抗体
を持つことであり、妊娠可能
年齢の女性で風疹抗体がない
場合には、ワクチンで抗体を
獲得しておくことです。

(岡田俊一・おかだ内科クリ
ニック院長、甲府市北口2-
9-12、ニッコー北口駅前ビ
ル2F)

☎0555・2888・1800-1